



玉城 勇 議員

町立保育所を 相談窓口として 位置付けできないか



町立・認可保育園合同の障がい児保育研究発表会

問 障がいやアレルギー等を持つ乳幼児保育への指導・助言ができる職員を町立保育所に配置し、各園からの相談窓口とすることができないか。

副町長 町立宮平保育所は指導的立場ではなく、互いに研鑽を深める立場である。障がい児保育は専門医師に依頼し、障がい児巡回指導や研修会などを年6回開催しており、指導・助言できる体制を整えている。アレルギー対策は、各法人保育園と連携し、学習会や研修会を増やし対応したい。

子ども・子育て支援は

問 南風原町子ども・子育て会議はどのような調査・審議を想定しているか。

副町長 子ども・子育て会議は、

- 教育保育施設の利用定員
- 地域保育事業の利用定員
- 事業計画策定・変更
- 子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進

に関し、必要な項目を調査・審議することを想定している。

問 「幼保連携型認定こども園」の認定を検討しているか。

副町長 現段階で認定こども園の認定および移行は検討していない。国の指針を考察しながら本町に必要な検討していく。

認定こども園とは…
保護者の就労の有無に関わらず、施設との直接契約により利用する幼稚園や保育園。

集落内に停止線・ハンプの取り付けを

問 停止線とハンプ(凸状の道路面)を必要な地域に取り付けられないか。

副町長 停止線やハンプは通行に危険や混乱を招くおそれがある。道路の安全性を確保する観点から、配置は困難と考える。交通安全対策として、注意喚起看板等を設置し、対応したい。

南風原ダムの計画は

問 南風原ダムの浚渫工事を県に要請できないか。

副町長 平成20年3月25日に県知事と町長との間で管理委託協定書を締結した。全額南風原町が負担する内容となっているため要請はできない。